

2019年3月1日
株式会社エイチアイディー・インターアクティカ

**【劇場型レストラン 水戯庵】1周年を記念して、
能楽：五流派 と 狂言：二流派による豪華プレミアム公演を開催**

劇場型レストラン 水戯庵（所在地：東京都中央区日本橋室町2-5-10 B1F、主人：木村英智）は、能楽 五流派（観世流、宝生流、金春流、金剛流、喜多流）と、狂言 二流派（和泉流、大蔵流）による、特別公演を2019年3月19日（火）から3月25日（月）にかけて開催いたします。



水戯庵は、2018年3月20日に、「365日本物の伝統芸能が愉しめる店・文化サロンとして、サービスを提供させていただいてきました。開業1周年を迎えるにあたり、能楽各流派の宗家、代表的な能楽師にご登場いただくプレミアムウィークとさせていただき、約150年前に描かれた老松を配した

能舞台、長崎の老舗料亭「富貴楼」から受け継いだ器など「本物」を凝縮させたスタイリッシュな空間で、能楽の世界を存分にお楽しみいただきます。

期間中は、片山九郎右門師、宝生和英師、金剛龍謹師、金春憲和師、長嶋茂師、大蔵彌太郎師、野村万蔵師、亀井広忠師、辰巳満次郎師、大倉源次郎師（人間国宝）など、蒼々たる面々の出演を予定しております。

能楽の公演においては、江戸時代以来の正式上演形式である五番立（ごぼんだて）に則り、

「神・男・女・狂・鬼」という五種類の能の演目の一部を五日間日替わりでワークショップ形式にて上演いたします。

これにより、能楽の奥深いバリエーションをご堪能いただける内容となり、一週間の全ての日程を御覧いただくと、ダイジェストではありますが能楽各流派の神髄を楽しんでいただけるととても贅沢なプランとなっております。

また、プレミアムウィーク期間中は、現存する最古の江戸前寿司「すし栄」による期間限定の黄雀ご膳(6,000円/税・サ別)も併せて提供させていただきます。持続可能性の高い、地球にやさしい「ブルーシーフード」を使用して作られた水戯庵ならではの料理で、江戸の粋を感じていただきます。



日本橋が桜で彩られる初春の頃、水戯庵で日本の宴を楽しまれてはいかがでしょうか。

〈水戯庵 プレミアムウィーク 概要〉

■開催期間：2019年3月19日(火)～3月25日(月)

■時間：第一部：11:15- 第二部：13:45- 第三部：19:00-

■料金 お一人様：お席料 5,000円(税込)～

※別途ワンオーダー以上のオーダーをお願いしております。

※お料理は、サービス料10%、消費税8%を別途申し受けます。

■

出演：2019年3月19日(火) 能 金剛流

2019年3月20日(水)能 宝生流
2019年3月21日(木)能 喜多流
2019年3月22日(金)狂言 大蔵流
2019年3月23日(土)能 観世流
2019年3月24日(日)能 金春流
2019年3月25日(月)狂言 和泉流

※各公演の演者は、部によって変更となる可能性があります。

【ご予約・お問合せ】：03 - 3527 - 9378 (受付時間 10:00-20:00 日祝は 19 時まで)

水戯庵

所在地：東京都中央区日本橋室町 2-5-10 B1F

www.suigian.jp

【水戯庵について】

店名： 水戯庵 (すいぎあん)
住所： 東京都中央区日本橋室町 2-5-10 B1F
アクセス： 東京メトロ 銀座線・半蔵門線三越前駅 A6 出口より徒歩 1 分
営業時間： 11:00-23:30 (L.O. 23:00) ※曜日により営業時間が異なります。
定休日： 不定休
座席： 50 席
電話番号： 03-3527-9378 (受付時間：10:00-20:00 (平日) /10:00-19:00 (日曜、祝日))
公式ホームページ：<https://suigian.jp>

～「水戯庵」の想い～

東京の中心地である日本橋に佇む由緒正しき福德神社に隣接する福德の森。その福德の森の地下にオープンする「水戯庵」は、世界無形文化遺産にも登録され、日本最古の芸能である“能楽”をはじめとする日本の伝統芸能が楽しめる空間で、日本を代表する寿司、お酒、お茶、甘味を五感で味わうことができる新感覚の劇場型レストラン＆ラウンジです。

最先端の技術を活かしながら、伝統的な日本を感じさせるアート展覧会「アートアクアリウム」や伝統産業を現代アートに変える展覧会「江戸桜ルネッサンス」を中心に、これまでも独自の手法で和の世界を表現してきた村英智。「アートアクアリウム」が誕生して10年が経過し、日本文化と真剣に向き合う中で、伝統工芸や伝統産業、そして伝統芸能の魅力を新たな手法で表現したいという想いが強く芽生えてきました。そんな村英智の想いを体現したお店が「水戯庵」です。

“日本を嗜み愉しむ”を基本コンセプトとし、店内は日本が誇る巧緻を極めた伝統工芸の要素を取り入れた室礼となっており、粋で艶やかな和の空間が広がります。中央には、江戸末期に狩野派絵師が

描いた鏡板が象徴的な三間四方(約5.4m四方)の舞台を設置し、能や狂言 日本舞踊をはじめとする伝統芸能が毎日繰り広げられます。

この舞台には、能楽五流(観世流、宝生流、金春流、金剛流、喜多流)、能楽囃子各流派、狂言流(大蔵流、和泉流)のほか、京舞井上流、日本舞踊花柳流、藤間流、琉球舞踊宮城流、文楽、雅楽といった、日本の伝統芸能を代表する各流派が日替わりで出演する、日本でも唯一の場所です。